

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 77

1974. 7. 4

福岡市東区大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL.092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇ 利用者講習会開催のお知らせ	1
◇ アプリケーションプログラム(ADSL)の登録について	2
◇ 新規に登録されたライブラリプログラムについて	3
◇ 広報VOL 7. No.2の訂正について	4

◇ 利用者講習会開催のお知らせ

FORTRAN の講習会を下記の要領で開催しますので、受講希望者は西利協事務局(当センター 内線 2264)まで申し込んでください。申し込みは受付順とし定員になりしだい締め切らせていただきます。

記

- 期 日 7月17日(水), 18日(木)
- 対 象 基本文法を知っている人でさらに効果的使用を望む人(当センター登録者)
- 会 場 理学部生物学第一講義室
- 参加人員 60名
- テキスト FACOM 230 M-V FORTRAN 解説編(Ⅱ)
(各自持参 生協書籍部にて販売)
利用の手引 ファイル編, 制御文編
(持っていない方に対してはセンターで用意)

○時 間 割

	9:30	12:00	13:00	16:00
17日	あさ いつ	FORTRAN 基本文法	昼 休 み	実行時のファイル利用 について
18日		LISTの見方とエラー処理 DEBUG文	昼 休 み	オーバーレイ構造

- 申し込み期間 7月8日(月)~13日(土)

◇ アプリケーションプログラム (ADSLの登録について)

富士通アプリケーションプログラム ADSL (大規模な連続系モデルをシミュレートするために利用される問題向きの言語) 使用のためのマクロ \$ ADSL, \$ ADSLRUN を登録いたしました。

機能とパラメータは、次のとおりです。

1. \$ ADSL

機能: ADSL 言語で記述されたプログラムを FORTRAN 言語にトランスレートし、翻訳をおこなう。

1	2	3	4	5	7
	命 令				オ ペ ラ ン ド
\$	A	D	S	L	① $\left\{ \begin{array}{l} \underline{\text{LIST}} \\ \text{NOLIST} \end{array} \right\}$ ② $\left\{ \begin{array}{l} \underline{\text{T1}} \\ \text{, Ti} \end{array} \right\}$ ③ $\left\{ \begin{array}{l} \underline{\text{NOOPT}} \\ \text{, OPT} \end{array} \right\}$

省略時は、アンダーライン—のあるパラメータを指定したことになります。

① NOLIST/LIST

ADSL ソース・プログラムの印刷, FORTRAN ソース・プログラムの印刷をおこなう。LIST または省略時には、印刷をおこなう。

② Ti (i = 1, 2, 3)

ADSL のメイン・コントロールに対する指定。

T 1 : ADSL の翻訳と FORTRAN の翻訳をおこなう。

T 2 : ADSL の翻訳のみをおこなう。

T 3 : FORTRAN 翻訳のみをおこなう。

省略時は、T 1 とみなす。

重複指定でかつ矛盾するときは、パラメータの物理的に先頭にあるものが有効になる。

③ OPT

FORTRAN Dタイプで翻訳する。

☆) なお、FORTRAN 翻訳時のパラメータをあたえることは可能ですので、この点に関しては、FORTRAN 文法編を参照ください。

2. \$ ADSLRUN

機能: \$ ADSL で翻訳されたプログラムの結合編集および、実行をおこなう。

1 2 3 4 5 6 7 8 10

\$	A	D	S	L	R	U	N	① { WA = n }			

省略時は n = 20 になります。

① WA = n

作業領域の大きさを指定する。

利用方法は、他のアプリケーション・プログラムと同じです。

◇ 新規に登録されたライブラリプログラムについて

利用者提供のプログラムを下記のとおり試用期間中のライブラリとして Q S . P L I B .

T E S T に 7 月 8 日 より 登録 します の で お 知 ら せ します 。

登録番号	IDコード	題 目	形式	ファイル名	ファイル定義名	マクロ名	複製作表用ファイル名
125	C2/QC/E/YONJIS	複素係数4次 代数方程式 フェラリ法	RB	QS.PLIB.TEST	P.TEST	¥PLIBRUN	P.LIB
126	C2/QC/E/YONJID	"	"	"	"	"	"
127	G5/QC/E/RUTEST	一様乱数検定(I)	"	"	"	"	"
128	G5/QC/E/RTEST	一様乱数検定(II)	"	"	"	"	"
129	G5/QC/E/RTEST2	一様乱数検定(III)	"	"	"	"	"
130	G5/QC/E/PTEST	一様乱数検定(IV)	"	"	"	"	"
131	G5/QC/E/RWTEST	一様乱数検定(V)	"	"	"	"	"
132	G5/QC/E/RUN2	一様乱数発生	"	"	"	"	"
133	G5/QC/E/RUD2	一様乱数発生 (倍精度)	"	"	"	"	"
134	G5/QC/E/RNO2	正規乱数発生	"	"	"	"	"

1) ライブラリの複製・作表のためのマクロ名は ¥LIBCOPY です。

2) コンパイルリスト、使用方法説明書はセンタープログラム相談室および図書室にあります

のご参照ください。

使用方法

\$ LIBCOPY P.LIB=YES となります。

◇ 広報 VOL.7 No.2 の訂正について

広報 VOL.7 No.2 の「機種増強について」の記事中一部誤りがありましたので、次の通り訂正します。

1) 55 (7)頁 表1 の訂正

		～48年8月	49年9月～50年3月	50年4月～
正	センター内端末	<u>F1592A</u> × 8 (JP1500)	同 左	<u>F1592A</u> × 4 (JP1500) F1510E × 3 F1591D × 1
誤	"	F1529A × 8 (JP1500)	同 左	F1529A × 4 (JP1500) F1510E × 3 F1591D × 1

2) 57(9)頁 4. 端末の5行目訂正

正 新開発の F1510E (以後, 'FACOM1510E' をこのように……………)

(誤) 新開発の F1501E (以後, 'FACOM1501E' をこのように……………)